

令和 8 年度 第 6 6 回香川県中学校総合体育大会バドミントン競技監督会資料

1. 出場選手確認

- ・団体選手変更
- ・個人戦の棄権

2. 競技について

- ・この大会は、現行(公財)日本バドミントン協会競技規則、及び大会運営規定によって実施します。
- ・本大会で使用するシャトルは、ヨネックスのエアロセンサ 7 0 0 3 番を使用します。
- ・団体戦のオーダー用紙は、試合開始前にオーダー交換所に提出してください。その時に互いのオーダー用紙を交換します。開会式後に 1 回戦の交換をします。準備しておいてください。
- ・ベンチに入ることができるのは、団体戦は、監督、コーチまたはマネージャー、選手とします。外部コーチは、必ずコーチ証を見えるようにしておいてください。なければベンチに入ることには認めません。個人戦は、監督・コーチまたはマネージャーとします。試合にふさわしい服装でお願いします。
- ・団体戦は、メインアリーナで進行し、**女子 1 回戦⇒男子 1 回戦⇒女子 2 回戦・・・**の順番で進めます。一方のチームが 2 試合先取した時点で試合は打ち切りとします。ただし、どちらかのチームが初回戦であれば、全ての試合を行います。進行状況により、試合を並行で行う場合があります。**(2 回戦までは 1 面進行、3 回戦からは 2 面展開、決勝は 3 面進行の予定)**
- ・個人戦は **女複→女単→男複→男単** の順にコールを行う予定です。
- ・ゲーム中の汗拭きや給水はゲームを中断しないように心がけ、必ず主審の許可を得てから行ってください。給水は倒してもこぼれないもので行ってください。(原則、インターバルの時にしか認めない)
- ・すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが 8 点になったとき、6 0 秒を超えないインターバルをとることができます。
- ・第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第 2 ゲームとファイナルゲームの間に 1 2 0 秒を超えないインターバルをとることができます。
- ・練習に関しては、**団体戦・個人戦両日とも開始式前に 5 分間の練習を行う。また、今大会では、試合前に 2 分以内の練習を行う。団体戦の際には、若番のチームから練習を行う。個人戦のシングルスは対戦相手と、ダブルスはペアと 2 分以内の練習を行う。その際のシャトルは各チームで持ち寄ること。**
- ・連続して試合を行う場合は、1 0 分間以上の時間をとります。
- ・競技時の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格ウェアとします。ゼッケンの 4 隅は必ず留めてください。試合開始前のあいさつ時や開始式、表彰式の際には上衣は下衣に入れるようにしてください。プレーが始まってからは、上衣を下衣に入れなくて構いません(熱中症予防の煙突効果があるため、全中等でも同様の措置がとられます)。又、はちまきの使用は認めますが、体裁良く結んでください。
- ・足のけいれん、熱中症などの状況が生じたときは、3 分間程度の時間において監督と選手が相談し、継続または棄権を判断してください。なお、選手には触れないようにしてください。養護教諭からの応急対応は可(経口補水液等)とします。治療はしません。なお、出血の際、応急処置(止血)は可とします。くれぐれも養護教諭に判断を仰がないでください。
- ・選手の意識がなかったり、命の危険が想定されたりする場合は、人命救助を最優先として考えるため、選手に触れることがある。
- ・フロアへの入口は、本部横の 2 カ所のみとします。

3. 審判について

- ・主審は原則として敗者審判が行い、**厳正かつ公平にその任務にあたる。** 線審は各チームから持ち寄る。

《オーバーコールについて》

- ・抗議は一切認めない。それと同様な言動は慎むこと。団体戦の時には監督と当該プレイヤーが、個人戦の時には当該プレイヤーが質問することができる。質問がある場合は、礼儀正しく質問すること。主審で判断できないときは、本部役員に聞きに来ること。

《レットについて》

- ・「レット」は主審しかかけることができません。仮に主審によってレットがかかっている場合、プレーは続行し、選手が勝手にラリーを止めることのないようにしてください。
- ・試合中のけがの処置については、主審及び本部役員の指示に従うこと。
- ・次のような行為は禁止する。
 - ①試合中、主審に無断でコートを離れること。
 - ②サービスを故意に遅らすこと。レシーバーが極端に遅い構えをすること。
 - ③相手を威嚇するような行為(選手・応援席ともに)。

- ④体力や息切れの回復狙い、監督、コーチ・マネージャーが、インプレイ中のサイドコーチをすること（インターバル以外でのコーチングに対して、選手はコーチ席の監督・コーチの方を向いて頷いてはいけない）。
- ⑤団体戦のインターバル中に、同時に3人以上の人が選手のところに行くこと
- ・試合の前後は挨拶をし、互いの健闘をたたえる。

4. 監督・コーチの服装について

- ・監督、コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨むこと。ユニフォーム（「香川」のみの背面プリントは不可）、Yシャツ、ポロシャツ、ブラウス、長ズボン（短パンや七分丈のズボンは不可）又はスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパやサンダル等は禁止する。
- ・Tシャツは禁止し、必ず体育館シューズを使用する。
- ・ロングTシャツに関しては、チームロンTを許可する。ウィンドブレーカー等は自由に着てかまわない。

5. その他

- ・団体戦、個人戦ともベンチは、組み合わせ表の若番のチームが、本部に向かって左側のベンチを使用してください。
- ・各チームの監督・コーチ、また主審をしている補助員は、団体戦始める前に必ずオーダー表を確認して、試合に入る選手とオーダー表の選手に相違がないようにすること。
- ・応援は中学生らしいまとまりのあるものにしてください。物を使っての応援は禁止します。インプレイ中は応援しないでください。（応援する際には、観戦している人の妨げにならないように配慮してください：紙などを出しての応援も不可、拍手で応援を。）又、カメラ撮影におけるフラッシュ使用は禁止します。
- ・学校毎に座席の指定はありません。
- ・通路より下側の座席は応援席として使用しますので、空けておいてください。
- ・観客の制限は行いませんが、参加する中学生においては各学校の体操服か制服で来館し、マナーを守って応援すること。
- ・保護者の方のカメラ撮影において、自由に撮影していただいて構いませんが、機器の故障や盗難があった場合、大会本部では責任を負いかねます。
- ・施設利用のマナーをしっかりとってください。
（ゴミの持ち帰り、フロア以外のシャトル打ちの禁止など）
- ・フロアと観客席は、体育館シューズのままでかまいません。ただし、体育館シューズのままで体育館から外に出ないようにして下さい。
- ・主審の確認をとらないで、勝手にコートから離れることがないようにして下さい。
- ・自分の荷物、貴重品の管理は、各校、各自で行うようにして下さい。
- ・試合フロアでの携帯電話の使用、個人情報観の観点より SNS などへの画像のアップを禁止します（試合動画の場合、顔だけでなく、背面のゼッケンや背景にもご注意ください）。
- ・四国総体出場【団体2校、個人3名（組）】※大会終了後、申込み説明会あり（監督）

☆R7 年度から四国総体の申し込み方法が変わっています☆

→例年は各チームが県中体連事務局（玉藻中）に申込書（印有り）を持って行っていたと思いますが、今年度からは各競技部長（観音寺中部中 高田）が県中体連事務局に申込書（印有り）を持って行くようになりました。そのため、7/25（土）までに競技部長へご提出ください。遠方になりますので、県総体終了後の申し込み説明会の時に書類を出せるようにしておいてもらえると、色々ご負担が減るかと思います。

6. 強化に関すること

- ・本大会において男女シングルス4位、ダブルス2位までに入賞した3年生には8／8（土）【ダブルス】、8／9（日）【シングルス】に坂出市立体育館で行われる、第45回全日本ジュニアバドミントン選手権大会香川県予選会（ジュニアの部）に中体連専門部の推薦選手として出場する権利を与える。
- ・本大会において男女シングルス4位、ダブルス2位までに入賞した1～2年生は、8／6（木）に坂出市立体育館で行われる、第45回全日本ジュニアバドミントン選手権大会香川県予選会（ジュニア新人の部）に中体連専門部の推薦選手として出場する権利を与える。

7. 副賞に関すること

- ・明治安田生命保険相互会社（以下、明治安田）が、日本バドミントン協会の「未来世代応援パートナー」となり、中学生年代のバドミントン支援を行っていただいています。本年も本大会団体戦優勝チームの皆様に対して、副賞品（シャトル一箱、シャトルケース）があります。申し込み等は大会後の四国大会説明会時に行います。